

第3期おやベルネサンス総合戦略

令和7年3月
小 矢 部 市

目 次

第1節 総合戦略の位置づけ.....	1
1 戦略策定の趣旨.....	1
2 計画の期間.....	1
3 推進体制.....	1
第2節 基本的な考え方.....	2
1 目標人口.....	2
2 第3期総合戦略の基本理念.....	3
3 第3期総合戦略の基本目標.....	4
4 地方創生SDGs（持続可能な開発目標）の取組.....	6
5 「小矢部市デジタル化推進計画」の推進.....	6
第3節 今後の施策の方向.....	7
基本目標1 活躍できる“仕事づくり”.....	7
基本目標2 人を呼び込む“魅力づくり”.....	13
基本目標3 未来を拓く“人づくり”.....	19
基本目標4 みんなで支え合う“地域づくり”.....	27

第1節 総合戦略の位置づけ

1 戦略策定の趣旨

我が国では、世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子高齢化が進行しており、生産年齢人口の減少が、我が国の経済成長の制約になることが懸念されています。

国においては、令和4年12月に「第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、令和5年12月の改訂を経て、令和5年度から令和9年度までの5か年の新たな総合戦略が策定されました。

その戦略においては「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指すこととしており、デジタルによって、地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしています。

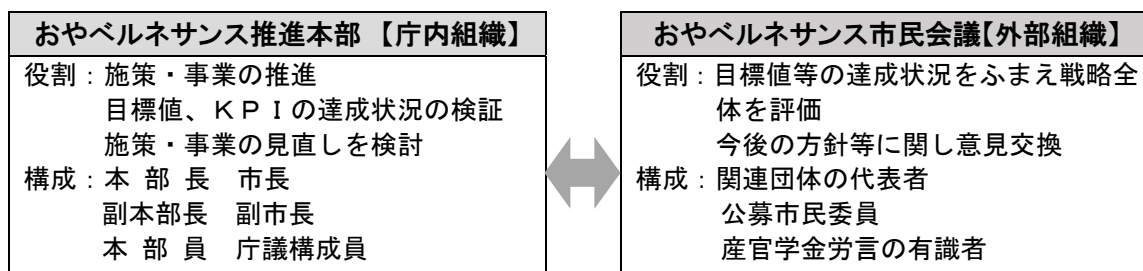
第3期総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「地方版総合戦略」として位置づけるものであり、国の総合戦略等を勘案しつつ、新たにデジタル技術の利活用に関する視点を取り入れて本市の社会課題の解決や魅力向上を図るための重点施策を策定します。

2 計画の期間

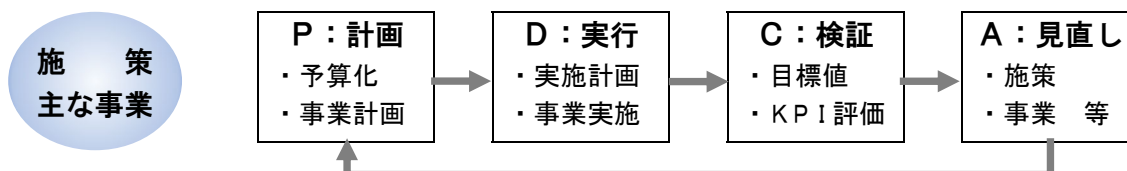
令和7年度（2025）から令和11年度（2029）までの5年間とします。

3 推進体制

市長を本部長とする「おやベルネサンス推進本部」において施策・事業を推進するとともに、内部評価、改善策の検討を行います。外部組織として「おやベルネサンス市民会議」を設置し、目標値やKPIの達成状況をふまえ戦略全体を評価し、今後の方針等に関し意見をいただきます。



施策及び主な事業に関しては、年度終了後、目標値及びKPIの達成状況、実施状況を整理し、「おやベルネサンス市民会議」と「おやベルネサンス推進本部」が連携し戦略全体の検証を確認し、施策及び事業の見直しを図るPDCAサイクルを実施します。



第2節 基本的な考え方

1 目標人口

令和 42（2060）年の目標人口を約 **17,600 人** とします。

1) 目標人口の考え方

① 出生率の目標

○高校生アンケートを参考に希望出生率 1.59 を目指す

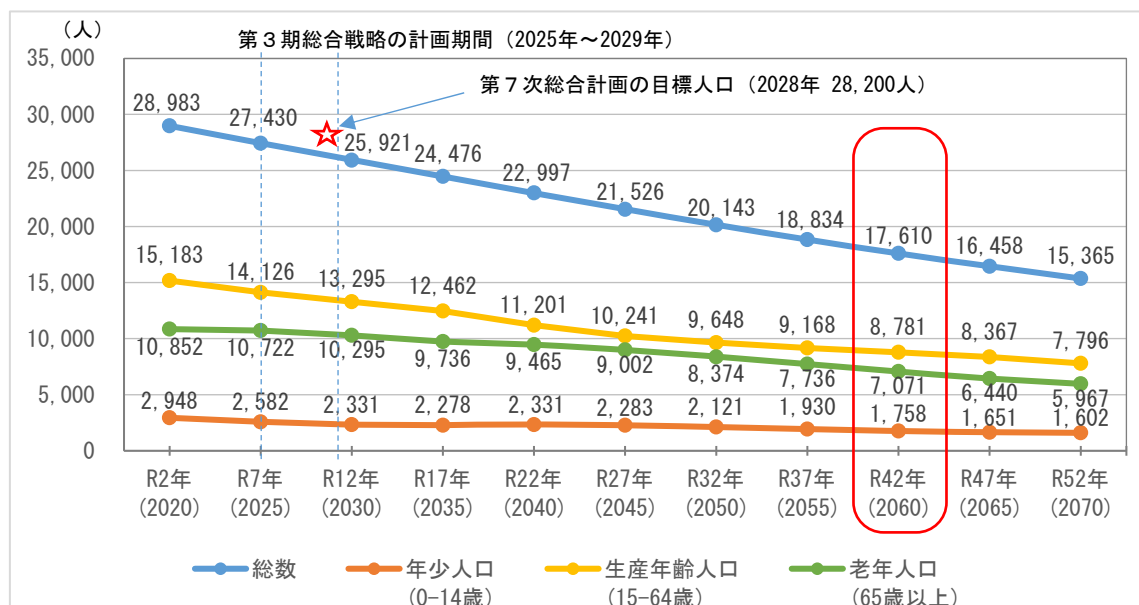
- ・令和 2（2020）年の出生率 1.28 から今後徐々に引き上げていき、現在の高校生世代が
出産期を迎える令和 12（2030）年～17（2035）年に希望出生率 1.59 を達成し、その後
は同じ出生率を維持します。

② 純移動数（転入・転出の差引）の目標

○純移動数をゼロ（転入・転出数が均衡）に抑える

- ・令和 2（2020）年～令和 7（2025）年以降、年齢 5 歳階級の全ての階級において純移動数が
ゼロになることを目指します。
- ・外国人の積極的な受け入れ体制を整えると同時に、交流・関係人口からの定住化の促進
等により転入者の増加を図ります。一方で若者や女性を惹きつける魅力的な職場や生
活環境を整備し転出者の抑制を図ります。

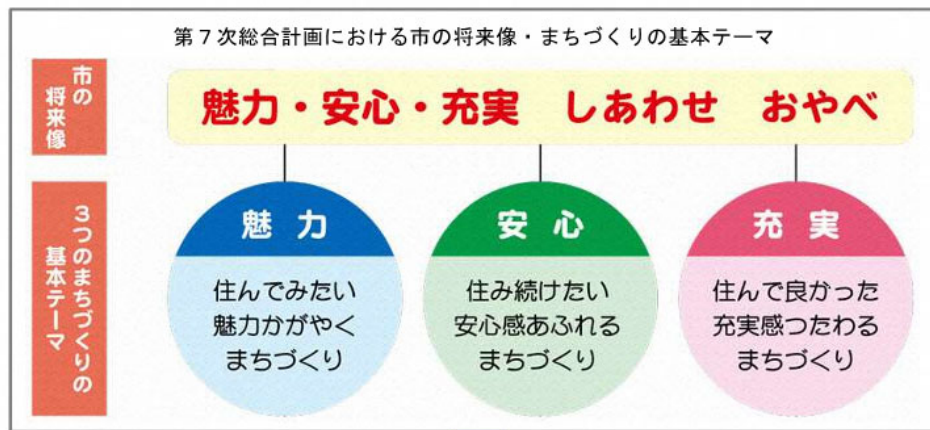
2) 小矢部市の将来人口推計結果



2 第3期総合戦略の基本理念

第2期総合戦略においては、第1期総合戦略の期間中に策定された「第7次小矢部市総合計画（2019年3月）」（以下「第7次総合計画」という。）との一体性に留意し、第1期総合戦略の4つの基本目標の構造は基本的に維持しつつ、「魅力・安心・充実によるしあわせおやべの創生」を目指して取組みを進めてきました。

第3期総合戦略は、第2期総合戦略と同様に本市の将来像や総合戦略の4つの基本目標の構造は維持するとともに、国が提唱する「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現するための「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に提示された施策の内容・取組のロードマップ等を踏まえ、デジタルを最大限に活用して公共サービス等の維持・強化と地域経済の活性化を目指す総合戦略の新しい方向性を取り入れた将来像の実現を目指します。



第3期総合戦略の基本理念

魅力・安心・充実による しあわせおやべ の創生

- 1 活躍できる “仕事づくり”
- 2 人を呼び込む “魅力づくり”
- 3 未来を拓く “人づくり”
- 4 みんなで支え合う “地域づくり”

3 第3期総合戦略の基本目標

基本目標1 活躍できる “仕事づくり”

- ・既存産業を活性化し競争力強化・発展を図るとともに、本市の特性である広域交通網の利便性を活かした新たな魅力ある産業・事業所の創出を図り、市内における就労人口の増加に努めます。
- ・農林業における担い手確保、生産性向上に向けてデジタル技術を活用したスマート農業の普及を図り、6次産業化・ブランド化による高付加価値化を推進し、若者世代が魅力に感じる産業への脱皮を図ります。
- ・起業・新分野開拓等を支援し、女性や高齢者、外国人等、誰もが活躍できる多様な就労機会の拡大を図り、仕事を求めて市外へ転出する人を抑制するとともに、都会からの移住者がスキルを活かせる仕事づくり、子育て世帯が安心して働ける職場環境づくりに努めます。

基本目標2 人を呼び込む “魅力づくり”

- ・アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立や、稲葉山・宮島峡の自然景観、倶利伽羅峠や今石動城址、寺院等の地域資源を活かしたインバウンド観光の充実とともに、地域の伝統的な祭りやイベントへの交流人口・関係人口の関わりを支援し、地域活力の維持・増進と魅力づくりを図ります。
- ・金沢市や高岡市などへの通勤の利便性などの立地の優位性や広域交通網の利便性を活かし、人口流出を抑制するとともに、比較的安価な土地価格をPRする等により移住施策の促進を図ります。
- ・本市の優れた自然環境や歴史的資源を活かしながら、生活環境の充実に努めるとともに、中心市街地の活性化を図り、若者や女性にとって魅力あるまちづくりを推進します。

基本目標3 未来を拓く “人づくり”

- ・若者の出会い・交流を推進するとともに、「結婚」、「妊娠」、「出産」、「子育て」、「進学」、「就職」までの一貫した支援の強化、近居も含むおやべ型三世代同居モデルの推進により、若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえます。
- ・確かな学力と豊かな人間力を育む教育環境の充実に努めるとともに、ふるさとへの愛着心を育てる体験教育等に取り組むことで、ふるさとへの想いを強く持ちつつ未来を拓き、小矢部市の将来を担う人づくりを推進します。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現等により、若者・女性の能力や感性を最大限に活かした経済活動を促進します。

基本目標4 みんなで支え合う “地域づくり”

- ・国土強靱化の推進と地域住民同士の支え合いにより、安全で安心して暮らしていける生活環境の整備を図ります。
- ・地域医療・福祉の充実等、地域包括ケアシステムの深化・推進を図りながら、人や資源のあらゆるリソースがつながって地域とともに作っていく「地域共生社会の実現」を図っていきます。また、健康寿命の延伸を目指します。
- ・とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づく連携事業を推進し、圏域全体の経済成長のけん引や生活関連機能サービスの向上等を図ります。

■基本目標と施策・事業の体系

基本目標 1 活躍できる “仕事づくり”	1) 地場産業の競争力の強化・発展	① 地場産業の育成 ② 企業立地支援の充実 ③ 企業のD X化支援
	2) 多様な雇用機会の拡大と就労環境の整備（若者や女性に魅力ある産業等の創出）	① 創業支援等の推進 ② 誘致活動の推進
	3) 農林業の推進による農林業経営の確立（地域資源を活かした農業・農村等の振興・活性化）	① 農村環境保全の推進 ② 農業推進による農業の生産性向上・経営安定化 ③ 小矢部ブランドの拡大 ④ 森林資源・水産資源の活用
	4) 雇用環境の整備	① 雇用環境の向上 ② 自立と社会参加の促進
基本目標 2 人を呼び込む “魅力づくり”	1) 移住・定住への支援	① U I J ターンの促進 ② おやべ暮らしの魅力発信と情報提供
	2) 観光の振興	① 観光資源の整備・活用 ② 観光誘客・P Rの充実 ③ 情報ネットワーク基盤の整備
	3) 魅力ある市街地等の形成	① 都市機能を支える都市軸の形成 ② 良好な住環境づくり ③ 公園・緑地の整備・管理の充実 ④ 中心市街地活性化
基本目標 3 未来を拓く “人づくり”	1) 結婚支援	① 結婚活動への支援 ② 結婚新生活への支援
	2) 妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援	① 妊娠・出産への支援 ② 子育て支援の充実 ③ こどもの権利の擁護 ④ 教育・保育の質の向上 ⑤ 保護者の多様なニーズへの対応 ⑥ 障害等の早期発見と対応の充実
	3) おやべっ子を育む教育環境の充実	① 確かな学力を育む教育の推進 ② 健やかな育成環境の整備 ③ I C Tを活用した効果的な学習の展開
	4) 若者・女性の経済的活動の促進	① 男女共同参画推進体制の充実 ② ワーク・ライフ・バランスの推進
基本目標 4 みんなで支え合う “地域づくり”	1) 安全・安心な地域づくり	① 防災・減災体制の充実及び強化 ② 消防力の充実・強化 ③ 交通安全活動の充実 ④ 防犯意識の高揚 ⑤ 住宅施策の充実 ⑥ 地域医療の維持
	2) 生涯現役の地域づくり	① 健康づくりの推進 ② 地域包括ケアシステムの深化・推進 ③ 高齢者の生きがいづくり
	3) 利便性の高い地域づくり	① 交通の利便性向上
	4) 住民主体の地域づくり	① 市民活動の促進 ② 地域ケアネット活動の推進 ③ 多文化共生のまちづくりの推進
	5) 住み続けたい地域づくり	① 生涯スポーツの推進 ② 文化の振興 ③ 文化財や伝統文化等の継承への支援 ④ 循環型まちづくりの推進 ⑤ ジェンダー平等意識の確立
	6) 地域連携の推進	① 広域行政・事業連携の推進 ② 障害者福祉の総合的な取組の推進
	7) 効率的な行政運営の推進	① 情報ネットワークを活用した行政サービスの向上

4 地方創生SDGs（持続可能な開発目標）の取組

第2期総合戦略に引き続き、SDGsの目標を意識して事業に取り組むことを目指します。各施策において具体的なSDGsの目標達成に関連深い事業にはアイコンを表示しています。

SDGsの17のゴール

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	国内および国家間の不平等を是正する
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	持続可能な開発に向けて実施手段を強化しグローバル・パートナーシップを活性化する
レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る	

5 「小矢部市デジタル化推進計画」の推進

本市においては、行政のデジタル化、社会のデジタル化の実現を目指して「小矢部市デジタル化推進計画」を策定し、デジタル分野に係る施策及び事業を進めております。

第3期総合戦略においても、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、デジタル技術の活用等により、本市の社会課題の解決や魅力向上を図るための施策及び事業を示し、本市のデジタル化を着実に推進していくこととします。

第3節 今後の施策の方向

基本目標1 活躍できる“仕事づくり”

(1) 基本的方向

- ・地場産業を活性化し競争力強化・発展を図るとともに、本市の特性である広域交通網の利便性を活かした新たな魅力ある産業・事業所の創出
- ・農林業の生産性向上、担い手確保、魅力創出のため、デジタル技術を活用したスマート農業の推進と、生産品を活かした6次産業化・ブランド化による高付加価値化の推進
- ・女性や高齢者、外国人等、誰もが活躍できる多様な雇用機会の拡大と就労環境の整備

(2) 目標値

	現状値 (R6)	目標値 (R11)
市内事業所数	1,597 事業所 (R3)	1,570 事業所
市内従業者数	16,276 人 (R3)	16,000 人

(3) 具体的な施策・事業

1) 地場産業の競争力の強化・発展



① 地場産業の育成

地場産業の育成を図るため、企業による商品開発やブランド化への支援を柱に経営者支援、中小企業への金融対策等を充実し、経営の安定と強化を図る。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
製造品出荷額等	81,128 百万円 (R5)	現状維持
年間商品販売額	27,260 百万円 (R3)	現状維持

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継) 商工業振興対策事業	市内中小商工業の振興、経営の安定・改善を図り、定住人口の増加に寄与するため、助成金・利子補給金の交付を行う。
(継) 中小企業金融対策事業	市内中小企業の円滑な資金繰りを支援し、企業経営の安定化に寄与することで、地域産業を活性化させ、雇用を創出し、定住人口の拡大を図る。
(継) 経営改善普及事業	商工会が行う小規模事業者の指導及び商工業者の振興と安定を図るための事業に要する経費について補助金を交付することで、市内商工業の総合的な発展に寄与し、地域活性化、雇用の創出、定住人口の拡大を図る。

(継) 専門家派遣活用事業	強化したい事業分野に応じた専門家の診断を受けることで、市内企業（事業所）の経営強化を支援する。
---------------	---

② 企業立地支援の充実

市内の企業に対し販路拡大等の支援をするとともに、交通の利便性や災害が少ないことなど、小矢部市の特性を活かした企業立地を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
企業立地助成金助成件数（累計）	39 件（R5）	49 件
販路拡大支援助成件数（累計）	17 件（R5）	22 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）企業立地助成事業	小矢部市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。
◎（継）販路拡大支援事業	中小企業等の販路開拓等を支援し、本市における産業の振興と発展を図るため、見本市等に出展する事業者に対し、その会場費等の一部を補助する。
（継）サテライトオフィス整備等事業	市内にサテライトオフィスを新設した事業者に対する補助により、U I J ターン及び企業誘致の促進を図る。併せて、ワーク・ライフ・バランスの充実に努める。
（新）社員寮用空き家バンク活用リフォーム事業	企業が空き家を取得又は賃借して社員寮に改修するための費用に対して補助を行うことにより、企業の労働力の確保と定住人口の拡大を図る。

③ 企業のD X化支援

市内企業のD X化を推進するため新たに創設した補助金等により支援を行う。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）小矢部市D X推進補助金助成件数（累計）	-	25 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（新）D X推進事業	データやデジタル技術を活用した製品・サービス・ビジネスモデルの変革や、業務の効率化・生産性の向上に対する取組を支援することにより、企業のD X化を推進する。

2) 多様な雇用機会の拡大と就労環境の整備（若者や女性に魅力ある産業等の創出）



① 創業支援等の推進

商工会や市内民間金融機関との連携により、創業者、新分野への進出企業等に対する支援情報を提供し、個人の起業、中小企業の第二創業、事業承継等を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
商業インキュベータ独立件数（累計）	1 件（R5）	3 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）創業支援事業	関係機関と連携し、地域における創業者に対して情報の提供等による事業支援を行うことで、若者や女性等、様々なニーズに対応した創業を促進する。
◎（継）事業承継促進事業	市内で創業を希望する者と廃業を予定している者とのマッチングを図るとともに、起業を支援し、空き店舗の解消につなげる。

② 誘致活動の推進

若者や女性に魅力のある仕事を新たに創出するため、産業用地に適した市有地（遊休地）等への企業誘致等の推進とともに、新産業団地の整備に向け適地調査を行う。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
工場立地用地取得件数（1,000 ㎡以上、累計）	35 件（R5）	45 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）産業用地管理事業 （産業用地の管理、新産業団地適地調査）	小矢部フロンティアパーク及び東部産業団地内の市有財産等について適切な管理を行う。また、旧中小企業大学校候補地などの用地管理を行うとともに今後の活用のための調査・研究を行う。
（継）企業立地対策事業 （県企業立地セミナー、とやま呉西圏域ビジネス交流歓会）	小矢部市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。

3) 農林業の推進による農林業経営の確立（地域資源を活かした農業・農村等の振興・活性化）



① 農村環境保全の推進

近年、イノシシをはじめとする野生鳥獣による農作物への被害が深刻な問題になっていることから小矢部市鳥獣被害防止計画に基づき対策を推進し農村環境を保全する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
鳥獣による農作物被害額	230 万円（R5）	221 万円

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）有害鳥獣捕獲対策事業	市内において有害鳥獣による人畜並びに農林産物への被害等の防止を目指し、地域住民、農業関係者等と連携して、その対策を講ずることができるよう支援する。

② 農業の推進による農業の生産性向上・経営安定化

デジタル技術を活用したスマート農業の普及を推進し、若者が農業に参入しやすい職場環境づくりや6次産業化等により農業所得の向上、経営の安定化を図る。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
担い手への農地集積率	81.6%	現状維持

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）農業後継者育成事業	農業の新規担い手の確保・育成を推進するため、団体等や認定農業者に対し、就農に必要な実践的知識・技術の習得を支援する。
◎（継）6次産業化支援事業	農林業における所得の向上や地域活性化を図るため、農林産物の高付加価値化の取組を支援する。
◎（継）中山間活力創生事業	中山間地域の自然的・経済的・社会的条件が不利な地域に対して、農業を活性化させるための取組を支援する。
（新）スマート農業普及促進事業	農業経営体が情報通信技術（ICT）、人工知能（AI）、IoT（モノのインターネット）、ロボット技術などの先端技術を活用して農業の生産効率や品質向上を図る取組みを支援する。

③ 小矢部ブランドの拡大

稲葉メルヘン牛やバラ等の地場産食材並びに地場産花卉を活かし、小矢部らしい特色あるブランドの開発を進めるとともに、認定商品のブラッシュアップ、周知PR活動を推進し、農産物等の付加価値向上を図る。また、ふるさとおやべ応援事業とも連携していく。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
小矢部ブランド認定件数（累計）	16 件（R5）	19 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）小矢部ブランド推進事業	小矢部市の知名度向上を目的として、平成 22 年度から小矢部ブランド認定制度を開始。現在、16 産品が小矢部ブランドに認定されており、情報発信に努めている。
◎（継）特産物振興事業	県内イベントに参加するとともに、食品衛生やブランド研修会等への参加を推進することで、新たな特産品開発を支援する。

④ 森林資源源・水産資源の活用

市産材を活用した住宅建築などへの支援により森林資源の育成・活用を推進し、里山の再生を図る。また、小矢部川をはじめとする内水面における資源の活用を図る。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
おやべの木年間利用量	35 m ³ （R5）	50 m ³

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）おやべの木活用推進事業	おやべの木活用促進事業補助金を交付することで、小矢部市産の木材の活用推進を図る。
◎（継）みどりの森再生事業	荒廃の進む人工林を再生することで、森林の公益的機能の向上を図る。
◎（継）里山再生整備事業	地域や生活に密着した明るい里山を再生するために、里山の再生整備を推進する。
（継）内水面漁業対策事業	小矢部川水系における資源の保護及び増殖を図り、内水面漁業の育成・啓発を行う。

4）雇用環境の整備



① 雇用環境の向上

女性や若者、障害者、外国人など多様な人材が働きやすい環境づくりを支援するとともに、ワーク・ライフ・バランスや多様で柔軟な働き方等を啓発することで、雇用環境の向上を図る。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
市内従業者数	16,276 人（R3）	16,000 人
（新）企業紹介 P R 動画制作支援補助金助成件数	6 件（R5）	31 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）雇用促進支援事業	市外で開催される合同企業説明会等に出展する事業者に対し、その出展に係る費用の一部を補助することで、市内の事業所が優秀な人材を確保することを支援し、本市における産業の振興と市内事業所の発展を図る。
◎（継）ワーク・ライフ・バランス、働き方啓発事業	多様な働き方の導入等によりワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む市内事業所を「おやベイクボス宣言事業所」として市が認定し、広報、市 H P 等でその取組を紹介する。
◎（継）多文化共生推進事業	外国人が増加する中、多文化共生に対する相互理解を深めるために、国際交流イベント等を開催する。
（新）雇用対策連携事業	関係機関と連携しながら、雇用に関する施策を実施することで、女性や若者、障害者、外国人など多様な人材が活躍できる雇用環境を整備する。
（新）企業紹介 P R 動画制作支援事業	企業紹介 P R 動画を活用して採用活動に取り組もうとする市内の事業所に対し、動画制作費用の一部を補助することで、事業所の内外への情報発信と人材確保の両面を支援する。

② 自立と社会参加の促進

福祉事業所、公共職業安定所（ハローワーク）等との連携により、障害者や生活困窮者の就労を支援し、自立と社会参加を促進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
福祉施設から一般就労への移行者数	2 人（R5）	8 人

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）障害者自立支援給付事業	障害特性に応じた就労支援を行うとともに、障害雇用のネットワークづくりや障害者就労に関する啓発活動などを行う。
◎（継）生活困窮者自立支援事業	生活困窮者等に対し就労支援員による就労支援や、就労体験等就労準備のための支援などを行う。

基本目標２ 人を呼び込む“魅力づくり”

（１）基本的方向

- ・若者や女性にとって魅力あるまちづくりの推進
- ・アウトレットモールを拠点とし、周辺の自然景観や史跡等の地域資源を巡るインバウンド観光の推進
- ・地域の伝統的祭りやイベントへの交流人口・関係人口の関わりを支援
- ・金沢市や高岡市などへの通勤の利便性などの立地の優位性や広域交通網の利便性を活かした暮らしの魅力発信

（２）目標値

	現状値（R6）	目標値（R11）
社会動態	69 人（R5）	転入・転出均衡
観光客入込数	1,067 千人（R5）	1,280 千人

（３）具体的な施策・事業

1）移住・定住への支援



① U I J ターンの促進

定住の拡大につなげるための各種支援制度、住宅・雇用・生活に関する情報提供の充実を図り、U I J ターンを促進する。

県内等の高等学校や高等教育機関との連携のもと、若者が市内の企業等に関心を持ってもらう機会の強化や、地方創生の取組の周知により、若者の移住・定住を促進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
社会動態	69 人（R5）	転入・転出均衡
住宅取得助成事業交付件数	46 件	50 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）住宅取得助成事業	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。
◎（継）空き家バンク利活用促進事業	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。
◎（継）富山で暮らそう！移住支援事業	首都圏等から移住し、県のマッチングサイトを通じて就職した方に対し、移住支援金を支給することで、移住を促進する。（富山県広域連携事業）

◎(継)高等教育機関等 連携推進事業(大学 コンソーシアム富山等 との連携)	大学コンソーシアム富山等に調査研究を依頼することで、中山間地域の振興及び定住促進等に関する地域課題の解決を図る。
---	--

② おやべ暮らしの魅力発信と情報提供

シティプロモーション戦略プランに基づいた情報発信などの施策の展開により、本市の魅力度・認知度の向上を図るとともに、小矢部市への愛着や誇り(シビックプライド)を醸成し、移住・定住の促進及び関係人口の創出を推進する。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
「住み続けたい」と考える人の割合	61.1% (R5)	65.0%
ふるさと納税件数(個人分)	1,481件 (R4) ※	2,500件

※令和5年度実績については災害関係の件数を含むため R4 実績を利用。(参考 R5 実績 4,233 件)

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)ふるさと回帰PR事業	県などが開催する首都圏等での移住・定住支援セミナー等へ参加し、移住を検討している人に対し、小矢部市での生活や魅力についてPRすることで移住・定住につなげる。
◎(継)おやべ暮らし体験ツアー事業	首都圏等在住者向けにテレワークや農業体験等の生活体験を行う「暮らし編」、県内学生向けに小矢部市内の企業を巡る「しごと編」のツアーを通じて、移住希望者や学生が小矢部市の具体的なイメージを持つ機会を創出する。
◎(継)ふるさとおやべ応援事業	ふるさと納税を実施することで、財源を確保するとともに、返礼品を通じて小矢部市の特産品のPRを図る。
(継)おやべで暮らしよう！シティプロモーション事業	小矢部市の魅力度・認知度を向上させることで、小矢部市と多様に関わる人を増やし、移住・定住の促進を図る。また、小矢部市への愛着・誇り(シビックプライド)を醸成することで、小矢部市の魅力をより倍増させるとともに、将来のUターン等につなげる。
◎(継)ふるさと通信発信事業	小矢部市から離れた人やふるさと納税を通じて縁を持った寄付者との継続的なつながりを保つため、小矢部市の近況や取組などの情報をSNS等を通じて定期的に発信し、「ふるさと」に関心を持ち続けてもらうことで、関係人口を創出し、将来的な移住・定住につなげる。
(継)都市農村交流対策事業	グリーンツーリズムの取組や滞在型の農作業・農産物加工体験などにより、県外との交流人口の拡大を図る。
(継)地域おこし協力隊受入事業	三大都市圏をはじめとする都市地域などから人材を誘致し、地域住民との共同活動支援などの地域協力活動を実施する地域おこし協力隊を受け入れることで、地域力の維持・活性化を図る。

2) 観光の振興



① 観光資源の整備・活用

倶利伽羅県定公園や稲葉山・宮島峡県定公園などの環境整備とともに、地域資源やメルヘン公共建築のブラッシュアップ、新たな素材の発掘を進め、新たに大規模改造を予定している道の駅やアウトレットモールと市内観光資源の連携による魅力的な観光ルートを創出する。

また、交通事業者や飲食・宿泊施設、観光ガイド、企業、観光協会、商工会等と連携し、受入態勢の強化を推進する。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
観光の振興の満足度	10.2%（R5）	30.0%
産業観光受入人数（累計）	2,840人（R5）	4,000人
（新）道の駅の観光客入込客数	630千人（R5）	700千人

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）観光推進事業	「34のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの誘客を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギューくん」と「メルモモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。
◎（継）稲葉山・宮島峡環境整備事業	稲葉山・宮島峡を継続的に整備し、観光地としての機能を高めることで、アウトレットモール等からの観光客の周遊促進を図る。
◎（継）倶利伽羅環境整備事業	倶利伽羅県定公園を継続的に整備し、観光地としての機能を高め、義仲・巴プロジェクトをより一層推進することで、アウトレットモール等からの観光客の周遊促進を図る。
◎（継）産業観光推進事業	小矢部市の産業を活かした新たな観光として、「見学型」「体験型」「座学型」に分類した「おやべ型産業観光」を商工会等と連携しながら推進する。
（継）道の駅・地域振興施設等大規模改造事業	道の駅メルヘンおやべについて、あり方や利用形態を見直し、集客数の増や効率的な施設運用を図るため、大規模改造を行う。

② 観光誘客・PRの充実

大河ドラマや映画などのフィルムコミッション設立を目指すとともに、観光振興プランに基づき戦略的な情報発信や誘客事業を進める。

ホームページをはじめ誘導看板、パンフレット等の多言語化を進め、インバウンドへの強化を図る。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
観光客入込数	1,067 千人 (R5)	1,280 千人

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)義仲・巴広域連携推進事業	小矢部市にゆかりの深い木曾義仲と巴の顕彰及びNHK大河ドラマ放映実現に向けた活動に取り組み、地域の活性化につなげる。
◎(継)観光推進事業 (再掲)	「34 のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの誘客を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギューくん」と「メルモモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。
(継)多言語パンフレット発行事業	小矢部市を紹介するパンフレットの多言語化を進めることで、インバウンドの誘致を図る。
(継)日本版DMO活動事業	「選ばれ続ける観光地」を目指し、マーケティングや観光戦略を実践していくための県実施事業に対して一部を負担する。(富山県広域連携事業)

③ 情報ネットワーク基盤の整備

国内外からの観光客に対し、情報ネットワーク基盤を提供するためWi-Fi環境整備を図る。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
観光フリーWi-Fiの設置箇所数(累計)	8 箇所	10 箇所

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)Wi-Fi環境整備事業	外国人をはじめとした観光客が、無料で使用できるWi-Fiスポットを県の統一規格(TOYAMA Free Wi-Fi)で整備することで、観光客自らの情報発信等を促進し、観光PRとしての拡散を期待する。

3) 魅力ある市街地等の形成



① 都市機能を支える都市軸の形成

道路網の整備により市民生活の利便性を高めるとともに、アウトレットモール等から市内への周遊を促す。地域主体で実施する市街地の再整備を支援し、魅力ある市街地形成を実現する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
都市計画道路の整備率	65.5%	66.3%
魅力ある市街地形成等の満足度	12.9%（R5）	20.0%

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（継）宿泊施設立地助成事業	宿泊施設の立地等に対し助成することで、市街地エリアへビジネス・観光客の誘客を図り、賑わいを創出する。
◎（継）県営街路事業	寄島西中野線を整備することで、交通の利便性向上を図る。
◎（継）市営街路事業	桜町西福町線を整備することで、交通の利便性向上を図る。

② 良好な住環境づくり

住宅取得助成や空き家対策等を図り、居住誘導区域内の人口を確保し、コンパクトなまちづくりを推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
空き家・空き地情報バンク成約件数（累計）	181 件	330 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）住宅取得助成事業（再掲）	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。
◎（継）空き家バンク利活用促進事業（再掲）	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。

③ 公園・緑地の整備・管理の充実

公園施設を良好な状態に保つことで、こども・保護者をはじめ、幅広い世代に親しまれる魅力空間を提供する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
公園遊具の健全率	92.3%	95.0%

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）公園施設管理事業	公園・緑地における遊具の新設や改修、長寿命化対策を推進し、効率的な維持管理を進める。

④ 中心市街地活性化

中心市街地の活性化を図るとともに、まちなか商業の活性化支援、空き店舗等の活用による新規出店の促進により、魅力あるまちづくりを進める。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
空き店舗等を活用した新規出店数（累計）	60 件（R5）	70 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（継）まちなか等振興事業	商店街等の空き店舗又は空き地を活用し出店する者に対し、創業費の一部を支援し、まちなかの賑わい創出を図るとともに、利便性に優れ、魅力ある商店街づくりを促進する。
（継）地域まちなか商業活性化支援事業	商工会が改修した石動駅前商工会ビル（める・びる）に対し、運営費の一部を支援し、まちなかの賑わい創出を図り、魅力ある商店街づくりを促進する。
（継）おやべ楽市事業	商工会、商店街協同組合、地元商店主が中心となって開催する軽トラ市等の集客イベントに対して支援することで、まちなかの賑わい創出を図る。

基本目標3 未来を拓く“人づくり”

(1) 基本的方向

- ・「結婚」、「妊娠」、「出産」、「子育て」、「進学」、「就職」までの一貫した支援の強化
- ・教育環境の充実とともに、ふるさとへの愛着や誇りを醸成する体験機会の強化
- ・近隣の高等学校や高等教育機関との連携のもと、若者が市内の企業等に関心を持ってもらう機会の強化
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現、若者・女性の能力や感性を最大限に活かした経済的活動と男女共同参画の推進

(2) 目標値

	現状値 (R6)	目標値 (R11)
出生数／15～49 歳の女性の人口 (千人)	38.0 人 (R5)	40.0 人
婚姻件数／15～49 歳の人口 (千人)	7.5 件 (R5)	13 件

(3) 具体的な施策・事業

1) 結婚支援



① 結婚活動への支援

市内企業や各種団体と連携し、結婚を希望する独身男女の出会い・交流機会を創出するとともに、「おやべの縁結びさん」活動の充実により、結婚活動支援の強化を図る。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
「おやべの縁結びさん」による成婚数 (累計)	40 組	60 組
出会いイベント参加者数	184 人	200 人

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)「縁結びさん」活動事業	「おやべの縁結びさん」養成講座を開催し、登録者の増加を図り、活動を支援する。また、「おやべ縁結びの会」に対し活動補助金を交付することで、縁結びさんの活動について自主性、機動性の確保を図る。
◎(継)婚活イベント・セミナー開催事業	婚活セミナーやイベント等を実施するとともに、民間団体等が実施する婚活支援イベントに対して補助をすることで、「縁結びさん」の活動との相乗効果を図る。

② 結婚新生活への支援

結婚後の新生活を本市で始める若者を増やすため、新婚世帯に対する住宅助成などを通じて結婚新生活への支援を行う。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
新婚世帯向け助成制度利用件数	22 件	45 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）結婚新生活支援事業	新婚世帯に対し、家賃や引越し費用等の一部を助成し、結婚に伴う経済的負担を軽減する。
◎（継）住宅取得助成事業（再掲）	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。

2）妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援



① 妊娠・出産への支援

妊産婦健康診査や乳幼児健康診査の受診を推奨する等、母子保健事業の充実を図るとともに、不妊・不育症に悩む人への支援を強化し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進める。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
妊娠 11 週以下での妊娠届出率	96.6% (R5)	100%
（新）産後ケア事業利用者数（延べ）	45 件 (R5) ※デイサービス型は R5.12 から	150 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）母子保健推進事業	母子保健法等に基づき、母子に関する知識の普及や母性を含む保護者並びに乳幼児に対する保健指導、健康診査、相談会などを実施し、妊娠から出産、新生児から成人に至る成育過程において切れ目のない支援を行い、母性並びに乳児及び幼児の健康保持、増進を図る。
◎（継）不妊治療費、不育症治療費助成事業	不妊治療、不育症治療にかかった費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、少子化対策の充実を図る。

◎(新)産前・産後の母子への支援事業	出産及び産婦健診時の通院に係る交通費を助成することにより、妊産婦の経済的・精神的負担の軽減を図る。 更に、妊娠中及び産後間もない心身の負担が大きい時期に、母の身体的回復と心理的な安定を促すことを目的として、産前産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業を行い、母子保健の向上を目指す。
(継)誕生祝い事業	小矢部市の次世代を担う新しい生命の誕生をお祝いするため、祝い品として市の特産物を贈る。第3子以降の場合は、メルヘン米又は稲葉メルヘン牛と交換できるクーポンも併せて贈る。
(継)おやべママ・パパ講座	ママ・パパ講座を実施することで、妊娠、出産、育児に対する知識の普及と不安なく出産や育児ができるよう支援する。

② 子育て支援の充実

こども医療費助成制度の継続的な実施等により子育て世帯への経済的負担の軽減を推進するとともに、放課後児童クラブ等の充実、子育て相談支援体制の整備により、子育て支援を強化する。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
子育て支援センターの年間利用者数	13,614 人 (R5)	13,500 人
子育て相談件数 (こども家庭センター)	964 件	1,000 件

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)子どもインフルエンザ予防接種費助成事業	小矢部市内の医療機関でこどもがインフルエンザ予防接種を受けた際にかかる費用の一部を助成する。(現物給付により助成)
◎(継)こども及び妊産婦医療費助成事業	0歳から高校生年代までのこどもの医療費及び妊産婦の特定の疾病の医療費を助成する。
◎(継)保育料等軽減事業	国や県の制度に加え、市においても、保育料及び副食費の負担の軽減を行うことで子育て支援を推進し、少子化対策を図る。
◎(継)放課後児童健全育成事業	保護者の就労等の理由により、放課後や長期休暇を児童だけで過ごすなければならない小学生に対し、授業の終了後に安心・安全に過ごせる居場所を提供して、その健全な育成を図る。
◎(継)地域子育て支援拠点事業	妊婦や子育て家庭の保護者間の交流の場を設けるとともに、育児不安等に関する相談や指導及び情報提供を行い、各家庭の子育てを支援する。
(新)こども家庭センター事業	こども家庭センターを子育て世帯に対する包括的な支援体制の中心とし、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもを対象に切れ目なく・漏れなく相談支援を実施する。こども家庭センターに保育コンシェルジュ、子育て支援コーディネーター等を配置し、子育て

	相談や教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供などを行う他、子育て支援アプリ「メル baby」により、年齢や月齢に沿った保健事業の案内や育児情報を随時配信し、子育て支援等に関する情報の周知を図る。
--	--

③ こどもの権利の擁護

ひとり親家庭に対する医療費の助成や児童扶養手当等の経済的支援により、こどもの貧困対策を進める。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
ひとり親家庭等の学習支援利用者数(延べ)	328 人（R5）	330 人

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）こどもの貧困対策事業（ひとり親家庭、生活困窮家庭）	こどもに対する学習支援、保護者に対する就労及び経済的支援を重層的に行い、生活の安定とこどもの健やかな成長を図る。

④ 教育・保育の質の向上

家庭・地域・保育所・認定こども園が交流・連携することで子育ての充実を図るとともに、保育所や認定こども園でのこどもの体力向上を支援するなど、教育・保育の質の向上を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）こども園等の待機児童数	0 人（R5）	現状維持

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）保育所等地域活動推進事業	児童の福祉の向上に資することを目的として地域の需要に応じた幅広い交流活動を推進する。
◎（継）地域子育て支援拠点事業（再掲）	妊婦や子育て家庭の保護者間の交流の場を設けるとともに、育児不安等に関する相談や指導及び情報提供を行い、各家庭の子育てを支援する。
◎（継）保育所・認定こども園における体力向上支援事業	運動に関して専門的な知識をもった指導者がこどもの実態に応じて、様々な動作や環境を設定することでこどもたちの意欲を引き出し、運動に対する興味・関心を深める。

⑤ 保護者の多様なニーズへの対応

休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズに対応できる保育サービスの充実を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
一時預かりサービス等実施箇所数	4箇所（R5）	6箇所

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）特別保育 （休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育）	子育て世代の多様な就労体系に柔軟に対応できるように体制を整備する。

⑥ 障害等の早期発見と対応の充実

発達障害等、多様化する障害についての正しい理解の促進に向けた啓発活動の推進と相談・支援体制の充実を図る。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
保育所等巡回訪問実施回数	29回（R5）	30回

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）発達に関する相談・支援事業	発達に気がかりがあるこどもや育児困難を抱える保護者を早期に発見し、専門職種による相談会や「ことばの教室」の紹介の他、子育て支援コーディネーターや臨床心理士がこども園等を巡回し、適切な支援につながるような助言等の支援を行う。

3) おやべっ子を育む教育環境の充実



① 確かな学力を育む教育の推進

スタディメイト等の配置を推奨するなど、きめ細やかな学校教育の推進を図るとともに、読書活動・福祉・環境・国際理解・英語教育・情報教育の推進により、児童及び生徒の確かな学力、生きる力を育む教育を実現する。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
小中学校図書貸出冊数 (児童生徒一人当たり)	68 冊 (R5)	73 冊
(新) 不登校児童生徒の教育支援センター利用率	26.4% (R5)	30.0%
(新) 「学校に行くのが楽しい」と思う児童生徒の割合	小学校 88.8% 中学校 88.6%	小学校 100.0% 中学校 100.0%

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継) 英語教育推進事業	語学指導の充実を図るため、英語指導助手を小中学校へ派遣する。
◎(継) 学校図書館司書配置事業	日々の生活の中で子どもたちが読書を楽しむ心や豊かな人間形成を育むため、図書館司書を配置し、読み聞かせや図書指導をする。
◎(継) 心身障害児就学支援事業	本人・保護者に対する早期からの相談体制の構築・就学移行期における支援などを行う。
◎(継) 「子どもと親の相談員」設置事業	市内小中学校に、不安や悩みを気軽に話すことができ、児童・生徒のストレスを和らげることができる第三者的な立場の相談員を設置する。
◎(継) 不登校児童生徒等適応指導事業	教育相談体制の充実を図るため、児童生徒の臨床心理に関して専門的知識、経験を有するスクールカウンセラーの配置などを行う。
◎(継) 特色のある学校づくり推進事業	「総合的な学習の時間」において、各学校それぞれテーマを設定し、本市の歴史、文化、ふるさとを大切にする心を育てる。
◎(継) スタディメイト派遣事業	発達障害や特別な支援の必要な児童に対して、学校生活や学習活動の支援を行うための支援員 (スタディメイト) を全校に配置する。
◎(継) 社会に学ぶ 14 歳の挑戦事業	中学 2 年生が 5 日間、学校外での職場体験に参加することにより、働くことの大変さや厳しさを学び、規範意識や社会性を高め、将来の生き方を考える契機とする。

② 健やかな育成環境の整備

家庭・学校・地域が一体となり、ふるさと教育・キャリア教育・体験学習・芸術文化活動を推進し、こどもたちの健やかな育成とふるさとへの愛着の醸成を図るとともに、市民図書館等を活用した学習を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
図書館利用者数（図書館活動参加者数を含む）	128,978人（R5）	135,500人
総児童・生徒数に占める、地域おやべっ子教室参加者数の割合	49.1%（R5）	50%
（新）地域移行を実施する部活動数	21部活動	38部活動

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）地域おやべっ子教室推進事業	こどもたちを対象に、平日の放課後や土曜日に、小学校や公民館において、地域の多様な技能を持つ方々の参画を得ながら、スポーツ、文化活動、体験活動、ふるさと学習等を実施する。
◎（継）通学・宿泊合宿事業	自立に目覚め始める小学4年生を対象として、地区公民館で通学・宿泊合宿事業を実施し、友達や大人との共同生活を体験させる。
◎（継）子ども読書活動推進事業	こどもの読書活動を推進するため、市民図書館に招待するなど小さいころから読書に親しむきっかけを提供する。
◎（継）生涯学習推進講座（子ども対象講座）	小学生や就学前児童を対象に、土日や長期休業期間中に、親子参加型のクッキング講座やかるた教室など、こどもを対象とした講座を開催する。

③ ICTを活用した効果的な学習の展開

Society5.0時代に求められる情報活用力の習得を目指して、小中学校においてICT環境を活用した情報の収集や表現、処理等の学習活動が可能となるようなICT環境の整備を進める。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）ICT教育に関する研修会の実施回数	2回	5回

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）情報教育環境整備事業	小中学校におけるICT機器等の整備を行うことで、児童・生徒・教職員の教育環境の向上を目指すとともに、教職員の公務環境の整備を行うことで、業務効率の向上を図り、教職員の多忙の解消により「こどもと向き合う時間」を確保する。

4) 若者・女性の経済的活動の促進



① 男女共同参画推進体制の充実

小矢部市男女共同参画推進員の支援を行うとともに、行政・企業・職能団体等における意思決定の場等への積極的な女性登用について働きかける。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
小矢部市が設置する審議会等における女性委員の割合	25.1%	40.0%

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)男女共同参画推進事業	小矢部市男女共同参画推進員の活動を支援するとともに、男女共同参画に関する施策の推進に努める。

② ワーク・ライフ・バランスの推進

男性の子育てや家事への参加という観点から、事業所によるワーク・ライフ・バランスの推進を促すために、情報提供や講座の実施などを通じて、普及啓発を進める。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
イクボス宣言事業所の登録事業所数 (累計)	84 事業所	100 事業所

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)ワーク・ライフ・バランス (イクボス推進事業)	男性の育児休業取得の推進など、仕事と家庭や子育てとの両立を図りやすい職場づくりを推進する。

基本目標 4 みんなで支え合う“地域づくり”

(1) 基本的方向

- ・国土強靱化の推進、地域住民の支え合いにより、安全で安心して暮らしていける生活環境の整備
- ・地域医療・福祉の充実、地域包括ケアシステムの深化・推進、健康寿命の延伸
- ・とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づく連携事業の推進

(2) 目標値

	現状値 (R6)	目標値 (R11)
小矢部市が暮らしやすいと感じる市民の割合	59.6% (R5)	65.0%
(新) 電子回覧板アプリの導入地区数	10 地区	18 地区

(3) 具体的な施策・事業

1) 安全・安心な地域づくり



① 防災・減災体制の充実及び強化

自主防災組織や防災士の育成とともに、防災訓練等への支援等により地域防災力の強化に努める。

備蓄の拡充や、市内企業との災害協定の締結等により防災体制の強化を図る。

国土強靱化を推進し、災害に強いまちづくりを進める。

■重要業績評価指標 (K P I)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
防災訓練を実施した地区数	15 地区 (R5)	18 地区
防災士養成数	103 人	130 人

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継) 自主防災組織育成事業	地域における防災力向上及び防災活動を促進するため、各地区自主防災組織に対して助成を行う。
(継) 防災士養成事業	地域防災力を強化するため、担い手となる防災士の養成を図る。
(継) 備蓄整備事業	自然災害等の発生に備え、食料や資機材など備蓄品の整備を行う。
(新) 防災力強化事業	近年の激甚化・頻発化の目立つ台風、豪雨や大規模地震などの自然災害から、市民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の加速化・深化を図る。また、有事の際の防災拠点の強化や避難所等の環境の改善を行い、災害に強いまちづくりを目指す。

② 消防力の充実・強化

消防団サポート事業の充実等による消防団員の確保及び消防団の活性化により消防力の強化を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
人口千人あたりの消防団員数	14.72 人	現状維持

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）消防団活性化事業	消防団員が各種活動を通じて地域住民と交流を図ることにより、消防団に対する理解や団員の確保を図る。
◎（継）私設消防隊消防施設整備事業	地域の消防防災体制の充実を図るため、私設消防隊が整備する小型動力ポンプ等について助成を行う。

③ 交通安全活動の充実

交通安全ボランティア等による見守り活動、こどもや高齢者に対する交通安全教育等を実施することで交通安全の推進を図る。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
交通事故発生件数	35 件（R5）	30 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）交通安全対策事業	小矢部警察署、小矢部市交通安全協会をはじめ関係団体と連携し、交通安全キャンペーン等を実施することで、市内での交通事故の発生を抑制する。

④ 防犯意識の高揚

市民、警察、防犯協会及び行政が一体となり、防犯意識の啓発、防犯パトロール隊の実施等、地域ぐるみの防犯活動を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）防犯カメラ設置補助台数（延べ）	12 台（R5）	18 台
（新）消費生活相談件数	64 件（R5）	84 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（継）防犯カメラ設置事業	安全なまちづくりのために、自治会等が地域の犯罪を抑制する目的で防犯カメラ等を設置することに対し、補助金を交付する。

(新)消費生活相談事業	消費者被害の回復や未然防止を目的として、また、若年・高齢者等の消費者被害増加を防ぐため、消費生活相談窓口を設置し、相談受付を行う。
-------------	---

⑤ 住宅施策の充実

空き家対策情報の周知により、空き家の適切な管理を促す。管理不全な空き家の所有者に対しては、改善指導を行う。また、空き家所有者や行政のほか、地域住民、不動産・法務・建築等の専門家団体、民間事業者などの多様な主体が相互に連携し、総合的な空き家対策の取組を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
老朽危険空き家（特定空家）の除却率	83.3%	86.6%

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）危険空き家除却支援事業	空き家の管理等について相談を受けるとともに、老朽危険空き家の解体及び除却に対して補助金を交付することで、安心・安全な生活環境の保全、地域の良好な景観の保全に努める。
◎（継）空き家バンク利活用促進事業（再掲）	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。

⑥ 地域医療の維持

身近なかかりつけ医の普及や医療機関相互の連携により、安心して質の高い地域医療体制の維持を図る。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
休日在宅当番医制度実施率	100%（R5）	現状維持

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）地域医療体制整備事業	地域医療体制を充実し、市民が安心してより質の高い医療を地域で受けることができるよう、基幹医療機関及び医師会への体制等整備補助及び支援を行うことにより地域医療体制を維持する。
◎（継）救急医療体制整備事業	関係機関と連携し、休日、夜間における一次、二次救急医療体制の維持を図る。

2) 生涯現役の地域づくり



① 健康づくりの推進

心身ともに健康な生活を送るための的確な保健事業の展開と主体的な健康づくりへの取組の支援を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）特定健康診査受診率	55.8%（R4）	65.0%以上
人口10万人当たりの自殺者数	19.5人（R4）	15.8人

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）健康づくり事業 （がん検診、健康診査、健康教育、健康相談）	特定健康診査、各種検診、相談事業等を通じ、疾病予防と早期発見、健康の保持増進を図り、市民の健康寿命の延伸への寄与を図る。
（継）感染予防事業	各種定期予防接種の実施に加えて、感染症の蔓延を防止する。
◎（継）食生活改善推進事業	地域において栄養及びバランスのよい食生活に関する知識の普及を目的に活動している食生活改善推進員の養成（健康づくり栄養教室）及び育成（食生活改善推進員研修会）を行う。また、市食生活改善推進協議会の地域組織活動等を支援する。
◎（継）地域自殺対策緊急強化事業	市民一人ひとりが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、自殺を予防する地域づくりを推進する。
◎（継）ひきこもり対策事業	ひきこもり状態などにある本人やその家族が自らその意志により、自身が目指す生き方や社会との関わり方などを決めていくことができる（自律する）ための支援を必要とする方への支援体制の構築を図る。

② 地域包括ケアシステムの深化・推進

高齢者が知識や経験を活かし、いきいきと暮らすことができる社会をつくとともに、生涯にわたり安心した生活を送ることができるよう、地域包括ケアシステムの充実を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
認知症サポーター数	12,040人	13,900人

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（継）地域包括支援センター運営事業	高齢者が住み慣れた地域で、健康で自立した生活が送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図る。
（継）在宅医療・介護連携推進事業	在宅等での療養生活が継続できるよう、在宅医療と介護の連携を促進し、地域包括ケア体制の充実を目指す。
（継）権利擁護推進事業	成年後見制度等の権利擁護事業の周知に努めるとともに、虐待の早期発見や消費者被害等の防止を含めた高齢者の権利を守る体制の推進を図る。

③ 高齢者の生きがいづくり

高齢者の学習・文化活動や交流活動を促進するとともに、高齢者の経験や技能を活かした就労機会の拡大を図り、高齢者が日常生活の中で生きがいを持てる環境づくりを目指す。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）高齢者おでかけ支援事業施設利用券使用枚数	－	17,500 枚

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（新）生きがいセンター運営事業	高齢者が生きがいを持って生活できるよう、生きがいセンターを設置し、高齢者の生きがいづくりを支援する。
（新）高齢者おでかけ支援事業	高齢者に老人福祉センターや公衆浴場の施設利用券を交付することで、外出のきっかけとし介護予防や閉じこもり予防、地域交流の促進を図る。

3) 利便性の高い地域づくり



① 交通の利便性向上

市営バスやA I オンデマンド交通等、きめ細やかな市営バス運行体制の充実を図るとともに、石動駅の機能強化により、あいの風とやま鉄道の利便性向上を進め、公共交通のサービスレベル向上を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
メルバスおよびチョイソコおやべ利用人数	36,437 人（R5）	37,000 人
石動駅乗車人員	1,457 人/日（R5）	現状維持

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）市営バス運行事業	主に小矢部市民の移動手段として、市内全域において5路線のメルバス、A I オンデマンド交通を運行する。
◎（継）石動駅パーク＆ライド促進事業	石動駅周辺の駐車場を利用するパーク＆ライドを促進し、石動駅の利用者の増加を図ることで、公共交通である鉄道の維持及び利便性の向上に努める。
◎（継）並行在来線対策事業	あいの風とやま鉄道株式会社と連携し、石動駅の利便性を高めることや沿線全体のサービスを向上することで、公共交通である鉄道の維持及び利便性の向上に努める。

4）住民主体の地域づくり



① 市民活動の促進

市民、ボランティア、NPO法人などによる市民活動を促進し、市民と行政の協働を推進する。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
おやべ型1%まちづくり事業の採択数	63 事業	70 事業

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）おやべ型1%まちづくり事業	個人市民税の1パーセントに相当する額を財源とし、地域の活性化や特色あるまちづくりの推進を目的として、市民自らが考え、みんなでいっしょに行動する事業に対し、補助金を交付して活動を支援する。
◎（継）コミュニティづくり推進事業（コミュニティ助成事業）	地域のコミュニティ活動の充実を図るため、コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対する助成を行う。

② 地域ケアネット活動の推進

子育てに困っている人や一人暮らしの高齢者等、地域で様々な福祉課題を持つ方に対し、地域の人や機関等が一体で見守りや話し相手になるなど、地域の支え合い体制の整備を図る。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
ケアネット活動による年間一人当たり支援回数（年間支援回数/年度末利用者数）	15.0 回（R5）	18.0 回

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（継）地域総合福祉推進事業	すべての人が地域で安心して暮らせ、互いに自立を支え合う福祉コミュニティの推進を図るため、地域の支援を必要とする人に、地域住民自らがチームを結成し、見守りや声かけなどの個別支援を行うケアネット活動に対し補助を行う。

③ 多文化共生のまちづくりの推進

小矢部市の外国人住民数が増加する中、異なる文化や生活習慣を持つ人々が、共に認め合い暮らしやすい地域を築くことを目指す。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
多文化共生に関するイベント参加者数（累計）	33 人	250 人

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）多文化共生推進事業（再掲）	外国人が増加する中、多文化共生に対する相互理解を深めるために、国際交流イベント等を開催する。

5）住み続けたい地域づくり



① 生涯スポーツの推進

小矢部市生涯スポーツプランを推進することで、市民が生涯スポーツを楽しむことができる環境づくりをするとともに、将来を担うこどもたちの競技力向上や、市内で盛んなホッケー競技への支援をする。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
市スポーツ施設の利用者数	161,915 人（R5）	170,000 人（R10）
週1回以上スポーツを実施する人の割合	59.1%（R3）	65%（R8）

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（継）全国的スポーツ大会及びスポーツイベント開催	スポーツの全国的大会やスポーツイベントの開催誘致を行う。
◎（新）小矢部元気ッズ育成支援事業	幼児期から学童期のこどもを対象に、スポーツイベントや教室などの運動に親しむ機会を提供する。

(新)スポーツを支える 組織の充実	(公財) 小矢部市スポーツ協会・NPO 法人おやべスポーツクラブ へ補助を行い、市民がスポーツを楽しむことができる環境の充実 を図る。
----------------------	---

② 文化の振興

芸術文化施設の充実や文化活動の促進、人材育成などにより、市民が優れた芸術文化に触れる機会を充実し、文化の振興を図る。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
クロスランドおやべ自主事業参加者数	54,359 人 (R5)	55,000 人 (R10)
(新)アートハウスおやべ自主事業参加者数	4,722 人 (R5)	5,200 人 (R10)

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)クロスランドおやべ自主事業	クロスランドおやべを活用しながら、市民に質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。
◎(継)アートハウスおやべ自主事業	アートハウスおやべを活用しながら、こどもを対象としたワークショップや展示会など様々な事業を展開する。
◎(継)小矢部市大谷博物館活用事業	文化的価値を有する大谷邸を博物館として公開し、郷土資料等を展示することにより、幅広い年齢層にとってのふるさと教育の場とする。

③ 文化財や伝統文化等の継承への支援

曳山、歌舞伎山、獅子舞、市指定無形文化財及び民俗文化財の保存継承に向けた支援を行い、伝統文化の継承を推進する。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
伝統芸能の保存等団体数	110 団体	現状維持

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)伝統文化・芸能保存継承事業	指定文化財である石動曳山祭や津沢夜高あんどん祭をはじめ、獅子舞用具の修繕等に補助を行い、地域の伝統文化・伝統芸能の保存継承と活性化を図る。
◎(継)小矢部三大祭保存伝承事業	小矢部三大祭である、石動曳山祭・おやべの獅子舞祭・津沢夜高あんどん祭の保存・伝承について検討する。
(継)小矢部三大祭等補助事業	中心市街地等での賑わい創出のため、小矢部三大祭等の事業主体に補助を行う。

④ 循環型まちづくりの推進

ごみの発生抑制（リデュース）や有効活用（リユース）、再生利用（リサイクル）を意識した3Rの取組を周知するとともに、廃材利用や自然エネルギーの有効活用を推進することにより、環境への負荷が小さい循環型まちづくりを推進する。

また、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の達成を目指すための各種施策を推進する。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
家庭ごみの排出量	6,085 t（R5）	5,700 t

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）ごみ減量化及び再生利用推進事業	ごみの分別収集や紙類の資源回収など、市民・市民団体・事業者・市が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を進め、ごみとして焼却・埋立処分される量を極力減らし、資源として循環する社会の形成を目指す。
（継）地球環境保全対策事業（ゼロカーボンシティ推進事業）	「ゼロカーボンシティ」実現のため、「小矢部市地球温暖化対策実行計画」に掲げる取組を推進し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す。

⑤ ジェンダー平等意識の確立

「男は仕事、女は家庭」というような性別役割分担意識は、人々の意識の中に根強く残り、女性の活躍や社会参画に影響を与え、男性の家庭生活への参画を困難にしている。

男女共同参画社会を実現するために、男女共同参画について正しく理解し、固定的役割分担意識を解消し、一人ひとりがともに協力し支えあっていく男女共同参画の意識づくりとともに、「すべての人が性別に関わらず個人として尊重される」という人権意識を高め、一人ひとりがともに自分らしさを大切にできる風土づくりを推進する。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
（新）地域活動の場で平等と感じる割合	23.9%（R5）	30.0%

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
（新）男女共同参画に関する情報の発信	男女共同参画市民のつどいや各地区で実施する推進員による出前講座等をケーブルテレビで放送するほか、ホームページ、市広報おやべ、市役所ロビーでの資料配置等を通じて、男女共同参画に関する情報発信を行い、固定的な性別役割分担意識・慣行の見直しを促す。

6) 地域連携の推進



① 広域行政・事業連携の推進

高岡地区広域圏事務組合での事務の連携を進めるとともに、高次の都市機能の集積・強化や生活関連機能サービスの向上を図るため、連携中枢都市圏である「とやま呉西圏域都市圏ビジョン」に掲げる連携事業を推進する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
高等教育機関等との連携事業数（累計） （大学コンソーシアム、COC+、地域包括連携協定、呉西圏域）	17 件（R5）	20 件

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）高岡地区広域圏事務組合事業	高岡市、氷見市、小矢部市の3市で構成する組合において、共同事務として地域振興事業、ごみ処理事業等を運営する。
◎（継）とやま呉西連携事業	県西部6市で形成するとやま呉西圏域ビジョン懇談会や、呉西圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づく具体的な取組等を定める都市圏ビジョンの推進を図る。
◎高等教育機関等連携推進事業（大学コンソーシアム富山等との連携）（再掲）	大学コンソーシアム富山等に調査研究を依頼することで、中山間地域の振興及び定住促進等に関する地域課題の解決を図る。

② 障害者福祉の総合的な取組の推進

砺波市、小矢部市、南砺市で構成する砺波地域障害者自立支援協議会において、障害者が自立した日常生活又は社会生活が営めるシステムづくりについて協議する。

■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値（R6）	目標値（R11）
地域生活支援拠点等登録事業所数	10 か所（R5）	14 か所

■主な事業（◎：重点事業、（継）：継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）障害者地域生活支援事業（地域生活支援拠点等整備事業）	砺波市、南砺市との連携により整備した地域生活支援拠点において相談支援や緊急時の受入を実施することにより、障害者福祉の取組を推進する。

7) 効率的な行政運営の推進



① 情報ネットワークを活用した行政サービスの向上

Society5.0を見据え、A I・ロボティクスを活用し事務作業等の効率化を図るとともに、行政サービスの質の向上を進めるスマート自治体の実現を推進する。また、小矢部市が保有する情報等のオープンデータ化を推進する。加えて、令和4年10月に策定した、小矢部市デジタル化推進計画に位置付けられた基本方針に基づく推進施策に積極的に取り組み、本市のデジタル化を推進する。

■重要業績評価指標(K P I)

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
市がオープンデータとして公開しているデータ数	18 件	21 件
(新) オンライン化された行政手続数 (電子メール除く)	121 件	592 件
(新) 電子回覧板アプリの導入地区数	10 地区	18 地区
(新) スマートフォン教室の実施回数 (入門・基本)	22 回	24 回

■主な事業 (◎：重点事業、(継)：継続事業)

事業名	事業概要
◎(継) 情報ネットワーク推進事業	市が保有する情報をオープンデータとして公開・提供することにより、市民の利便性向上や地域活性化を図る。
◎(継) R P A 等推進事業	人工知能やロボットによる自動化を進めることで、事務作業等の効率化や行政サービスの向上を図り、より質の高いサービスを提供する。
(新) 行政手続のオンライン化・デジタル化事業	各種証明書のオンライン申請をはじめとする行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済を推進するとともに、窓口においては、マイナンバーカード等を活用し、「書かせない」「待たせない」スマート窓口の実現を図る。
(新) 地域社会のデジタル化事業	高速インターネットや Wi-Fi の普及を促進し、地域全体でデジタル技術を利用しやすい環境を整える。 住民を対象にデジタル技術の教育や講習等を実施し、高齢者を含む全ての世代がデジタル技術を活用できるよう支援するとともに、電子回覧板等のデジタルプラットフォームを活用して、地域住民間のコミュニケーションや交流、情報共有の円滑化を図る。

目標値・KPI一覧

基本目標１ 活躍できる“仕事づくり”

目標値

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
市内事業所数	1,597事業所 (R3)	1,570事業所
市内従業者数	16,276人 (R3)	16,000人

重要行政評価指標 (KPI)

No.	指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
1	製造品出荷額等	81,128百万円 (R5)	現状維持
2	年間商品販売額	27,260百万円 (R3)	現状維持
3	企業立地助成金助成件数 (累計)	39件 (R5)	49件
4	販路拡大支援助成件数 (累計)	17件 (R5)	22件
5	(新)小矢部市DX推進補助金助成件数 (累計)	-	25件
6	商業インキュベータ独立件数 (累計)	1件 (R5)	3件
7	工場立地用地取得件数 (1,000 m ² 以上、累計)	35件 (R5)	45件
8	鳥獣による農作物被害額	230万円 (R5)	221万円
9	担い手への農地集積率	81.6%	現状維持
10	小矢部ブランド認定件数(累計)	16件 (R5)	19件
11	おやべの木年間利用量	35m ³ (R5)	50m ³
12	市内従業者数	16,276人 (R3)	16,000人
13	(新)企業紹介PR動画制作支援補助金助成件数	6件 (R5)	31件
14	福祉施設から一般就労への移行者数	2人 (R5)	8人

基本目標２ 人を呼び込む“魅力づくり”

目標値

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
社会動態	69人 (R5)	転入・転出均衡
観光客入込数	1,067千人 (R5)	1,280千人

重要行政評価指標 (KPI)

No.	指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
15	社会動態	69人 (R5)	転入・転出均衡
16	住宅取得助成事業交付件数	46件	50件
17	「住み続けたい」と考える人の割合	61.1% (R5)	65.0%
18	ふるさと納税件数(個人分)	1,481件 (R4) ※	2,500件
19	観光の振興の満足度	10.2% (R5)	30.0%
20	産業観光受入人数 (累計)	2,840人 (R5)	4,000人
21	(新)道の駅の観光客入込客数	630千人 (R5)	700千人

22	観光客入込数	1,067	千人 (R5)	1,280	千人
23	観光フリーWi-Fi の設置箇所数 (累計)	8	箇所	10	箇所
24	都市計画道路の整備率	65.5	%	66.3	%
25	魅力ある市街地形成等の満足度	12.9	% (R5)	20.0	%
26	空き家・空き地情報バンク成約件数 (累計)	181	件	330	件
27	公園遊具の健全率	92.3	%	95.0	%
28	空き店舗等を活用した新規出店数 (累計)	60	件 (R5)	70	件

基本目標3 未来を拓く“人づくり”

目標値

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
出生数／15～49 歳の女性の人口 (千人)	38.0 人 (R5)	40.0 人
婚姻件数／15～49 歳の人口 (千人)	7.5 件 (R5)	13 件

重要行政評価指標 (K P I)

No.	指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
29	「おやべの縁結びさん」による成婚数 (累計)	40 組	60 組
30	出会いイベント参加者数	184 人	200 人
31	新婚世帯向け助成制度利用件数	22 件	45 件
32	妊娠 11 週以下での妊娠届出率	96.6 % (R5)	100 %
33	(新)産後ケア事業利用者数 (延べ)	45 件 (R5) ※デイサービス型は R5.12 から	150 件
34	子育て支援センターの年間利用者数	13,614 人 (R5)	13,500 人
35	子育て相談件数 (こども家庭センター)	964 件	1,000 件
36	ひとり親家庭等の学習支援利用者数 (延べ)	328 人 (R5)	330 人
37	(新)こども園等の待機児童数	0 人 (R5)	現状維持
38	一時預かりサービス等実施箇所数	4 箇所 (R5)	6 箇所
39	保育所等巡回訪問実施回数	29 回 (R5)	30 回
40	小中学校図書貸出冊数 (児童生徒一人当たり)	68 冊 (R5)	73 冊
41	(新)不登校児童生徒の教育支援センター利用率	26.4 % (R5)	30.0 %
42	(新)「学校に行くのが楽しい」と思う児童生徒の割合	小学校 88.8 % 中学校 88.6 %	小学校 100.0 % 中学校 100.0 %
43	図書館利用者数 (図書館活動参加者数を含む)	128,978 人 (R5)	135,500 人
44	総児童・生徒数に占める、地域おやべっ子教室参加者数の割合	49.1 % (R5)	50 %
45	(新)地域移行を実施する部活動数	21 部活動	38 部活動
46	(新)ICT教育に関する研修会の実施回数	2 回	5 回
47	小矢部市が設置する審議会等における女性委員の割合	25.1 %	40.0 %
48	イクボス宣言事業所の登録事業所数 (累計)	84 事業所	100 事業所

基本目標 4 みんなで支え合う“地域づくり”

目標値

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
防災訓練を実施した地区数	59.6 % (R5)	65.0 %
防災士養成数	10 地区	130 地区

重要行政評価指標 (KPI)

No.	指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)
49	防災訓練を実施した地区数	15 地区 (R5)	18 地区
50	防災士養成数	103 人	130 人
51	人口千人あたりの消防団員数	14.72 人	現状維持
52	交通事故発生件数	35 件 (R5)	30 件
53	(新) 防犯カメラ設置補助台数 (延べ)	12 台 (R5)	18 台
54	(新) 消費生活相談件数	64 件 (R5)	84 件
55	老朽危険空き家 (特定空家) の除却率	83.3 %	86.6 %
56	休日在宅当番医制度実施率	100 % (R5)	現状維持
57	(新) 特定健康診査受診率	55.8 % (R4)	65.0 %以上
58	人口 10 万人当たりの自殺者数	19.5 人 (R4)	15.8 人
59	認知症サポーター数	12,040 人	13,900 人
60	(新) 高齢者おでかけ支援事業施設利用券使用枚数	-	17,500 枚
61	メルバスおよびチョイソコおやべ利用人数	36,437 人 (R5)	37,000 人
62	石動駅乗車人員	1,457 人/日 (R5)	現状維持
63	おやべ型 1 %まちづくり事業の採択数	63 事業	70 事業
64	ケアネット活動による年間一人当たり支援回数 (年間支援回数/年度末利用者数)	15.0 回 (R5)	18.0 回
65	多文化共生に関するイベント参加者数 (累計)	33 人	250 人
66	市スポーツ施設の利用者数	161,915 人 (R5)	170,000 人 (R10)
67	週 1 回以上スポーツを実施する人の割合	59.1 % (R3)	65 % (R8)
68	クロスランドおやべ自主事業参加者数	54,359 人 (R5)	55,000 人 (R10)
69	(新) アートハウスおやべ自主事業参加者数	4,722 人 (R5)	5,200 人 (R10)
70	伝統芸能の保存等団体数	110 団体	現状維持
71	家庭ごみの排出量	6,085 t (R5)	5,700 t
72	(新) 地域活動の場で平等と感じる割合	23.9 % (R5)	30.0 %
73	高等教育機関等との連携事業数 (累計) (大学コンソーシアム、COC+、地域包括連携協定、呉西圏域)	17 件 (R5)	20 件
74	(新) 地域生活支援拠点等登録事業所数	10 か所 (R5)	14 か所
75	市がオープンデータとして公開しているデータ数	18 件	21 件
76	(新) オンライン化された行政手続き数 (電子メール除く)	121 件	592 件
77	(新) 電子回覧板アプリの導入地区数	10 地区	18 地区
78	(新) スマートフォン教室の実施回数 (入門・基本)	22 回	24 回

【参考資料】第2期総合戦略の目標達成状況と課題

第2期総合戦略の概要

基本理念

魅力・安心・充実による しあわせおやべ の創生

- ◆魅力 住んでみたい魅力かがやくまちづくり
- ◆安心 住み続けたい安心感あふれるまちづくり
- ◆充実 住んで良かった充実感つたわるまちづくり

基本目標

- 基本目標1 魅力ある“しごとづくり”
- 基本目標2 人をよびこむ“まちづくり”
- 基本目標3 未来を拓く“ひとづくり”
- 基本目標4 みんなで支え合う“しくみづくり”

第2期総合戦略の目標値達成状況

基本目標	指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)	実績値
1	就業者数（経済センサス）	15,058 人 (H28)	14,300 人	16,276 人 (R3)
	事業所数（経済センサス）	1,623 事業所 (H28)	1,500 事業所	1,597 事業所 (R3)
2	社会動態数	▲69 人 (H30)	80 人	▲77 (R1) ▲76 (R2) ▲203 (R3) ▲47 (R4) 69 (R5)
	観光客入込数	1,174 千人 (H30)	1,280 千人	1,165 (R1) 779 (R2) 788 (R3) 1,015 (R4) 1,067 (R5)
3	出生数／15～49 歳の女性の人口（千人）	37.0 人 (H30)	47.4 人	28.0 人 (R1) 33.0 人 (R2) 30.0 人 (R3) 31.0 人 (R4) 38.0 人 (R5)
	婚姻件数／15～49 歳の人口（千人）	14.2 件 (H30)	16.2 件	12.1 件 (R1) 10.2 件 (R2) 10.2 件 (R3) 11.0 件 (R4) 7.5 件 (R5)
4	小矢部市が暮らしやすいと感じる市民の割合	61.3%	70.0%	59.6% (R5)
	要介護（要支援含む）認定者／高齢者人口	19.3% (H30)	現状維持	19.7% (R1) 19.8% (R2) 20.0% (R3) 19.8% (R4) 19.9% (R5)

第2期総合戦略の課題

■要点

1. 従業者数は増加、事業所数は横ばい（経済センサス）
2. 社会動態は減少傾向が続く R5 年のみ増加、観光入込客数はコロナ禍後回復傾向
3. 出生数は横ばい、未婚率は上昇
4. 暮らしやすいと感じる割合は横ばい、要介護認定者の割合は横ばい

■分析

- ・従業者数の増加や社会動態数の直近での増加と、外国人の転入増加がほぼ合致しており、外国人の暮らしへの配慮や多文化共生が求められる。
- ・交流人口はコロナ規制緩和以降回復しつつあり、これに伴い関係人口の拡大も期待されるが、定住促進への効果発現まで至っていない。
- ・婚活支援、妊娠から子育てまでの総合的な支援は着実に活用されており、出生数の維持につながっているが、人口減少の抑制までは至っていない。